

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営理念

第一にお客様とその未来のために、第二に社員とその未来のために、第三に企業とその未来のために

眼鏡作製技能士  
1,102名

聴力検査室設置店舗  
500店以上

認定補聴器技能者  
318名

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 店舗戦略

不採算店舗の統廃合を進め、地域・客層に合わせた店舗改装を実施。国内新規出店10店舗、退店15店舗を計画

## 3. 海外戦略

中国法人の事業整理、ロンドン法人の閉鎖を決定。東南アジアの眼科ビジネス協業を中長期視点で推進

## 2. 商品戦略

Made in Japan のPB眼鏡フレーム拡充、目的別レンズ開発、『眼を救え』キャンペーンで団塊ジュニア層向け教育強化

## 4. デジタル強化

ECサイト充実、若年層向けデジタルマーケティング強化、オリジナル会員制『オペラクラブ』で情報発信

## ③ 対処すべき課題

## ① 世界的政情と経営環境

- ・コスト削減と適正価格設定のバランス検討
- ・有資格者（眼鏡作製技能士）増加による社員レベルアップ
- ・インバウンド需要への対応強化

## ② 市場・顧客動向への対応

- ・人口減少・少子高齢化下でのアクティブシニア層開拓
- ・単なる販売ではなく相談できるプロフェッショナル体制構築
- ・品質・メンテナンス重視の思考へのシフト対応

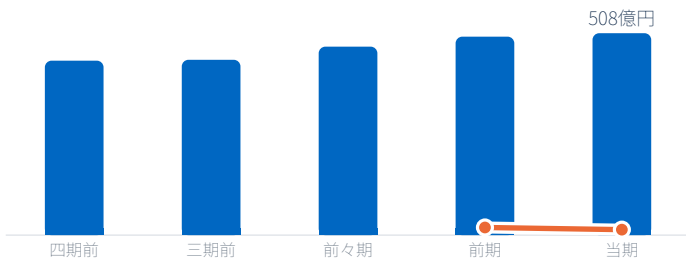
## ③ 中長期計画の見直し

- ・2030年度目標の乖離により新計画策定
- ・専門性・パーソナライズ・信頼を中核価値として差別化
- ・メディカル・資産運用との事業連携深化

## 面接で使えるポイント

- ・1,102名の眼鏡作製技能士を擁し、500店以上の聴力検査室を備える技術力で…
- ・『第一にお客様とその未来のために』という理念に基づき、ホスピタリティブランド化を目指し…
- ・Made in Japan のPB眼鏡フレーム拡充や『眼を救え』キャンペーンなど、品質と環境配慮を両立させ…

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
50.8億円営業利益率  
2.7%財務健康度  
53点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 50.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
597万円平均年齢  
48.0歳平均勤続  
22.4年女性管理職  
15.0%男性育休  
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

